

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (尾道市立吉和小学校)

- ① 教科等 総合的な学習の時間
- ② 学年 第6学年
- ③ 単元名 「吉和鳴滝弁当プロデュース大作戦!」～吉和鳴滝弁当プロジェクト～
- ④ 本時の目標 吉和鳴滝弁当づくりで最も大切にしなければならないことを考え、交流することを通して、お弁当プロデュースの際の具体的な視点をもつことができる。
- ⑤ 学習の流れ (43時間目/全70時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 吉和鳴滝弁当プロデュース大作戦の学習計画について想起する。	・学習計画表を提示し、学習のゴールを明確にした上で、本時の学習にのぞめるようにさせる。	
2 本時の学習課題をとらえる。	・見通しをもって学習に臨めるように、全体で学習課題を確認する。	
チャンスをももらったお弁当プロデュース大作戦! 「吉和鳴滝弁当」の工夫ベスト3を考えよう!		
3 吉和鳴滝弁当の工夫を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・「①吉和鳴滝弁当と呼んでもらえるようなお弁当, ②売れるお弁当, ③もう一度食べたいと思えるお弁当」を作らなければならないことを確認することを通して、本時の学習課題に向き合う意欲を高め、ワークシートに自分の考えを書く場を設定する。 ・ワークシートには、ベスト3と、友達を納得できる理由をかかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・吉和鳴滝弁当の工夫について考えている。 〔整理・分析に関する思考・判断・表現〕 (ワークシートに記述)
4 自分達が考えた工夫について交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・吉和らしさを表現する。 ・吉和の食材を使う。 ・栄養バランスを考える。 ・彩りを考える。 ・旬のものを取り入れる。 ・おかずの種類を増やす。 ・盛り付けを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで話し合う場を設定する。ペアでの交流は、自分の考えに自信を持たせることと、自分の考えを確かなものにするために行うことを伝える。 ・全体交流の場では、自分の意見と友達の見解を比べながら聞かせ、教師が繰り返し発問を投げかけ、全体に聞き返ししながら話し合いをコーディネートすることで、考えを深めさせていく。 ・ベスト3に選んだ理由を交流させながら、決定する。 ・「自分と違う視点」や、「同じ視点でも理由が違う。」場合は、主張し尽くすよう指示し、論争を意図的に仕組む。 	
5 栄養教諭から、話し合いについての感想・気づき・アドバイスを聞く。	・児童の話し合い全体を見渡し、食や弁当に関する思考や価値意識についてアドバイスする。その際、家庭の「食」改善に関する課題については、家族と考えてくるよう指示し、新たな課題意識をもたせる。	
6 本時のまとめをする。	・本時の学習課題を再確認し、意識させた上で、本時の学習のまとめをワークシートに記入させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・吉和鳴滝弁当の工夫について考えている。 〔表現する力〕 (発言・ワークシート)
7 本時の学習を振り返る。	・ワークシートを活用し、交流を振り返らせ、自己評価を行わせる。	

【言語活動の充実】

設定した言語活動を通して育てたい力

- お弁当プロデュースの際の具体的な視点を持ち、「①吉和鳴滝弁当と呼んでもらえるようなお弁当, ②売れるお弁当, ③もう一度食べたいと思えるお弁当」を作るために、必要な要素を説明することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 自分の考えは、主張しつくすように指示し、意図的に論争を仕組み、交流を活性化させる。
- 教師が繰り返し発問を投げかけ、全体に聞き返ししながら、話し合いをコーディネートする。